

～ゴミ拾いで地球をクリーンに！～

○学校からの帰り道、通学路で数えきれないほどのゴミがみぞに捨てられていた。ゴミがポイ捨てされるとさまざまなことが起こりうる。例えば、まちがえて生き物がそれを食べてしまったり、排水こうにゴミが詰まって水が使えなくなってしまうたりもする。また、その地域の治安も悪くなってしまうということもあるそうだ。こうした問題を防ぐため、私はゴミ拾いを何日かに分けて、場所を変えたりもして、実践してみることにした。

実践

①まずは、通学路の特にゴミが集まっていたみぞ約20mゴミを拾う。その重さ・ゴミの種類を調べる。

●集めたゴミの種類とその重さ

種類	重さ(kg)	気付いた事
燃えるゴミ	0.4kg	重さが全部等しくてとてもびっくりしたが、燃えるゴミが1番多かった。(ゴミ自体が小さかった意味！)
プラスチック	0.4kg	ゴミが1番多かった場所
空き缶	0.4kg	雑草でかくれていたりと、あまり人の目に付かないところが
ペットボトル	0.4kg	多かった。



全体の重さ... 1.6kg

ゴミぶくろ 4 ぶん

まとめ

○案外ゴミは少なかったけど、お菓子の箱の中にもゴミがギュウギュウにおしまわれて捨てられていたりタバコの吸い殻もあってやっぱりまだまだポイ捨てゼロは難しいと思った。ポイ捨てして悪い事なんてしつもないから、これからゴミちゃんとして持ち帰って捨てるのを改めて考えた。



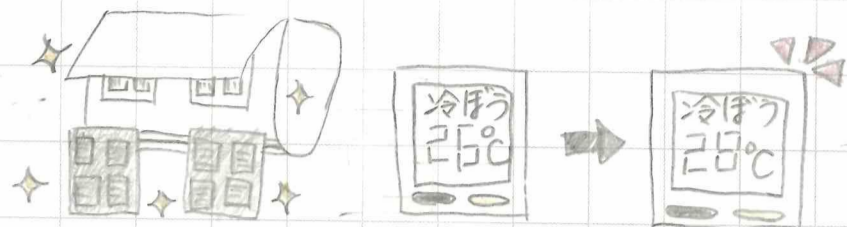
※下記 () 内に保護者の同意の署名がある活動レポートのみ、審査の対象になります。
<個人情報の利用について>

応募者の氏名、学校名、学年を活動レポートの審査、ホームページ公開、メディアへの情報提供、展示会場での展示に利用します。

上記の内容に同意します。保護者氏名

() 【保護者氏名は公開いたしません。】

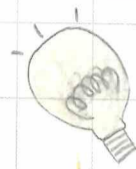
最近、「電力の供給が逼迫している」というニュースをよく目にします。私たちの生活にかかせない電気。私は今すぐできる節電術を考えました。



- 設定温度を28℃を目安に設定。
- フィルターをそうじする。

↳ こまめに!!

- 窓にすだれやカーテンをし、直射日光を防ぐ。
- サーキュレーターなどで部屋の上部の暖気をじゅん環させる。



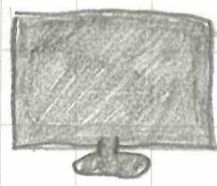
- 明るさを下げる
- 不要な照明は消す。
- LED電球につけかえる。



- 設定を「強」→「中」
- 食品をつめすぎない。
- かべの間に適切な間かくを開ける。
- 余分な扉の開閉をしない。
- 熱いものは冷ましてから入れる。



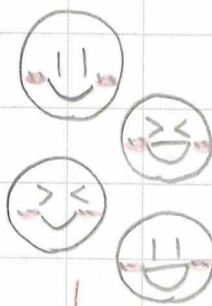
- 容量の80%程度を目安にまよめ洗いをする。
- また、衣類かんそう機やよく室かんそう機は部屋干しとへい用して使用時間を短くする。



- 省エネモードにする。
- テレビを見ないときは消す。
- 必要以上に音を大きくしないようにする。



- できるだけ、温水洗浄便座の使用をひかえる。
- 使用する場合は温水洗浄便座の設定温度を低めにする。
- 使わないときは、温水洗浄便座のふたをしめる。



- 家族みんなで一つの部屋に集まる。
- できるだけしか所で過ごすことで照明やエアコンの節電につながる。

まとめ

このように、ちょっとした工夫で節電は簡単にできます。私たちが節電の努力をすることが安定した電力の供給につながります。そして一人一人の節電がCO₂を減らし地球温暖化防止につながります。

※下記 () 内に保護者の同意の署名がある活動レポートのみ、審査の対象になります。

<個人情報の利用について>

応募者の氏名、学校名、学年を活動レポートの審査、ホームページ公開、メディアへの情報提供、展示会場での展示に利用します。

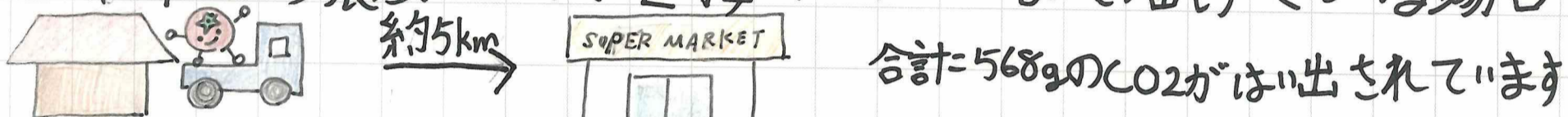
上記の内容に同意します。保護者氏名 ()

() 【保護者氏名は公開いたしません。】

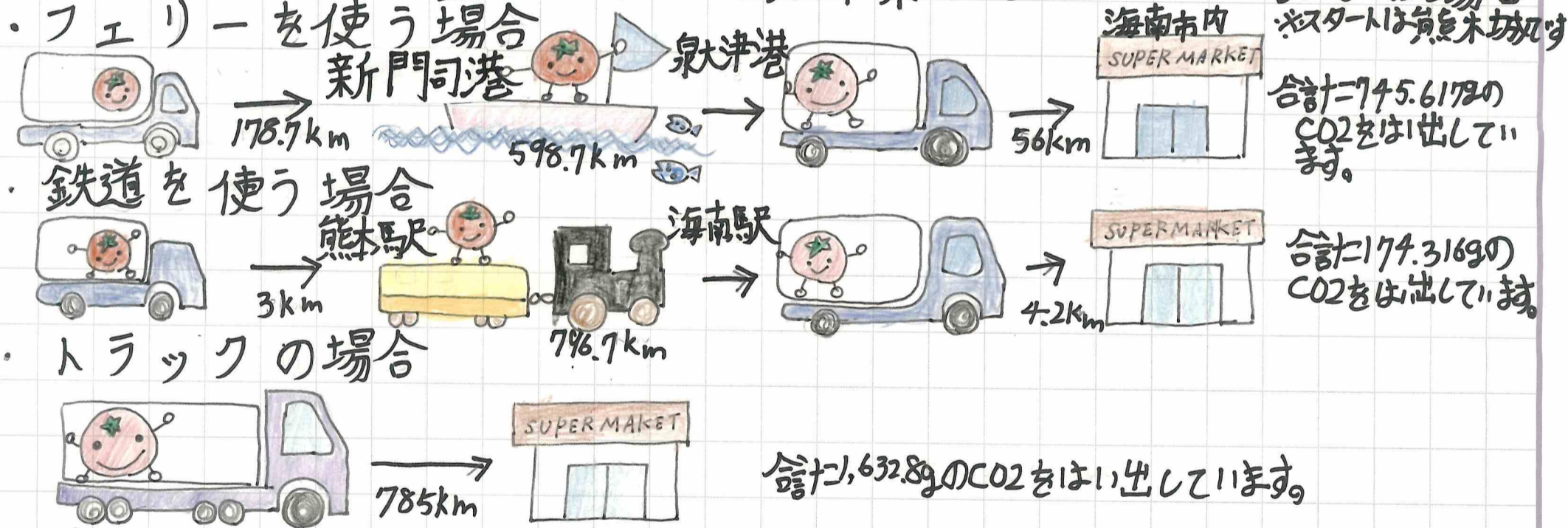
ミニトマトがスーパーに届くまでのCO2はい出量を知りました。
 わが家では、お母さんが夏になるとミニトマトを育てています。
 家で作っているミニトマトはすぐ食べられて、とってもおいしいです。
 スーパーではいろいろな産地のトマトがあります。
 スーパーに届けられるまで、いろいろな乗り物を使って、はこばれます。
 CO2はい出量がどれくらいなのかを知りました。

- 1kgを1km先にはこぶ時に出るCO2の量
- マイカー 113.6g
 - トラック 2.08g
 - 鉄道 0.2g
 - 船舶 0.43g
- ※国交省のHPより

①海南市内の農家さんが直接スーパーまで届けている場合



②ミニトマト生産量、日本一の熊本県からスーパーまでの場合



家庭で作ったミニトマトは、トラックやフェリーに乗る事がないため、輸送時のCO2はい出されません。
 スーパーに並ぶまでもCO2はい出しているため、少しでもはい出量をへらすために、地域で育てられた野菜やお肉、お魚などを選ぶようにしたいなと思いました。
 私は新せんな野菜やくだものが食べられて地域の人々が育ててくれた物は安心感があると思います。農家さんは直接消費者に届けることで収益が高くなります。
 近くのものを選ぶ事でみんながハッピーになるすてきな事だと思いました。

※下記 () 内に保護者の同意の署名がある活動レポートのみ、審査の対象になります。
 <個人情報の利用について>
 応募者の氏名、学校名、学年を活動レポートの審査、ホームページ公開、メディアへの情報提供、展示会場での展示に利用します。

上記の内容に同意します。保護者氏名 () 【保護者氏名は公開いたしません。】

人間が地球の資源をどんどん使い、どんどん捨てる一方で、地球はSOSの悲鳴をあげています。地球の出すSOSは、地球にすむ私たちの人間のSOSでもあります。

★資源のげん少	★地球温だん化	★生物のくらしが
- 森林のげん少	- 気候の変化による	失われる
- 砂ばく化	- 自然災害の増加	種のせつめつ
- 水不足	- 低地の水ぼつ	

地球の資源を使いつくすことなく、かんきょうを守り、地球の生物ときょうぞんしていくにはどうしたらいいでしょうか？ 私たちにできることは3つの行動(3R)をとることです。

- ① ごみをへらすように工夫すること(Reduce)
- ② 捨てないでもう一度方法を考えること(Reuse)
- ③ 捨てるとまはなるべく資源として活用できるように分別する。(Recycle)

<p>■ Reduce</p> <ul style="list-style-type: none"> - おだ物は買わない - 物は大切に長く使う - 買った食品はむたなく料理する。 - 食べるこしをしない - マイボトル、エコバックを使う 	<p>■ Reuse</p> <ul style="list-style-type: none"> - 不用になったおもちゃ、いるい、家具などは必要な人にゆずる。 - フリーマーケットやリサイクルショップで利用する。 	<p>■ Recycle</p> <ul style="list-style-type: none"> - 古紙、ビン、ペットボトル、プラスチックなどの用器は、市町村の決めたルールを守って分別する。
---	--	--

- 夏休み中にやったこと
- ポテトチップスの袋 → 資源ごみで出す → Recycle
- レジぶくろをもらわない → マイバックで買い物 → Reduce
- ジュースのかん → 自どうはんばいきの回しゅう箱に入れる。 → Recycle
- 小さくなつたふく → 友達の妹にあげる。 → Reuse
- シャンプー → つめかえ用のせい品を選ぶ → Reduce

まとめ

- このように社会全体で3Rにとりくむことで、ごみをずつと少なくすることが出来ます。私たちは、今ある資源をうまく使ってごみを大切に生かすことが大切です。



※下記()内に保護者の同意の署名がある活動レポートのみ、審査の対象になります。
<個人情報の利用について>

応募者の氏名、学校名、学年を活動レポートの審査、ホームページ公開、メディアへの情報提供、展示会場での展示に利用します。

上記の内容に同意します。保護者氏名 (

) 【保護者氏名は公開いたしません。】

↓
近隣の回しゅうボックス

上村家のCO₂をへらすチャレンジ

私の家では、きょう年お姉ちゃんがエコチャレンジにさん加して
からりサイクルをやるようになりしました。

上村家で取り組んでいること（7月、8月で集めた分）

- ①ペットボトル 72本（500mlサイズ）
- ②食品トレイ 53枚（いろいろなサイズ）
- ③ダンボール 12箱（いろいろなサイズ）



わたしはペットボトルや食品トレイを集めて
いるけれど、どれくらいCO₂のさくげんになっ
ているのかを気にしたことがなかったの
でインターネットで調べることにしました。

ペットボトル→新しい原材料を使ってせい品
を作るよりも約1.02kgのCO₂がへらせれる。
(1kgのPETフlew) ※全国清りょう飲料連合会のHPより

食品トレイ →食品トレイから食品トレイを
つくと、約1.96kgのCO₂がへらせれる。(トレイ1kg) ※エフエフHPより

りサイクルをやることでCO₂がへらせれるこ
とがわかった。今日のエコチャレで学んだこ
とは、かんきょうによい商品や、りサイクル
せい品をえらぶこと、"これは今、本当に必
ような物か?"をかんがえてから買い物をやる
ことが大切だと思いました。
じっかり考えて買い物をすれば"買ったけど
つかわなかった"などのもったいないがなくなりま
す。
いらぬ物は買わない、使わぬようにすれば、少しでもCO₂
をへらせることができると思いました。

